プラタナス

新宿区立四谷中学校　学校だより　第1号　平成３１年４月２６日

「新入生入場」

平成３１年度がスタートしました。
１年３クラス　９６名（男子：４９名 女子：４７名）
２年３クラス　８９名（男子：５４名 女子：３５名）新苑２名（男子：１名　女子：１名）
３年３クラス　９８名（男子：５２名 女子：４６名）新苑２名（男子：２名）
合計２８７名（男子：１５８名　女子：１２９名）

月に一回程度の、この「プラタナス」でお会いできるとともに、いつでもお子さんの様子をご来校いただき、確認していただければありがたいです。学校はいつでも授業参観等できます。

「新入生呼名」

入学式校長式辞（抜粋）

新元号となる歴史的な年の入学ということを考えると、新入生の皆さんにとって、おそらく「一生忘れることのできない入学式になるのではないでしょうか。
ところで、不思議なことに、２週間前の小学校の卒業式の皆さんの表情と、今の表情がもう違っていることが分かりますか？よく、「立場が人をつくる」ともいいます。まさしく、中学生の表情になっていますね。
それでは、新に中学生になった皆さんに二つのことの話をしてお祝いの言葉とします。

「校長式辞」

● まず一つ目は、「チャレンジしなければ実力はつかない」ということです。
皆さんは、「恥」をかいたことがありますか？恥をかくということは、自分の実力以上の場所に出るということです。実力に見合った場所にいつもいて、実力以上の場所に出ていかなければ恥をかくことは ありません。それではいつまでたっても、それ以上の実力はつかないということになります。自分の実力以上のところにいって、実力の違いを見せつけられ、自分の実力のなさを思い知ることが大事なことです。
そして、思い知らされたその瞬間に自分の実力は伸び始めています。これは何でもチャレンジしてみなければ、実力はつかないということです。
「恥」をかくことを恐れず、是非中学校三年間で勉強に部活動にそして学校行事にいろいろチャレンジしてほしいと思います。

「誓いの言葉」

● 二つ目は、「いろいろなチャンスを逃さず、掴み取ってほしい」ということです。
チャンスというのは、必ず目の前を通り過ぎていく、決して後ろを、通っていかない。だから、いつも後ろを向いている人には、チャンスはつかめない。前を向いて歩いていれば、チャンスが目の前を通り過ぎていくのが分かるということです。
例えば、毎日の授業の中で、前向きに授業に臨むことで、将来の自分に合った学びたいことを探し当てることができるかもしれません。部活動も、同様に臨むことで自分に適した活動を見つけられるかもしれません。
現在の皆さんは、中学校生活というものに多少の不安を持っていると思います。その気持ちが、いつまでも続くとどうしても、過去つまり小学校時代の楽しかったことを考えてしまいます。それでは、チャンスは掴めません。過去は、過去として中学校では常に前をみて生活して欲しいと願っています。そして、いろいろなチャンスを掴んでほしと思っています。
本校の同窓会会長の三菱UFJ銀行の西尾さんが、この三月の本校の同窓会入会式で、「今までやってきた銀行の仕事が、あっという間に通用しない世の中になってきている」とおっしゃっていました。この三年間の学校生活の中で、チャレンジすることを決して諦めず、いろいろなチャンスを確実につかんで、これからの世の中に通用できうる礎を確実に身に着けていって欲しいと切に願っています。

「歓迎の言葉」

「校歌合唱」

「新入生退場」

最後に保護者の皆さん、本日はお子様のご入学おめでとうございます。

ここで、保護者の皆様にお願いがあります。お子さんは、学校だけで見ているわけではありませんし、家庭だけで見ているわけではありません。家庭でご覧になるお子さんは、一人の子どもとして生活しています。学校でのお子さんは、集団の一員としていわゆる子どもの世界で言う社会人として生きているわけです。それぞれの立場で違いがあります。そういう中で、お子さんは成長していきます。多様化している今日の社会において、いろいろな面で学校と家庭が、連携・連絡を密にとっていくことが、お子さんを見守っていくための大変大変重要な必要条件になります。日頃からの、ご協力・ご支援をお願い申し上げ、式辞といたします。

平成３１年度教職員一覧

個人情報保護のため掲載できないことをご理解ください

転出入教職員の紹介

個人情報保護のため掲載できないことをご理解ください

※ご家庭からの一言　　次号に載せてよいか　　□載せてよい　　□載せない　　（ご返事、ご意見を寄せてください）